

第2回大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想検討委員会 会 議 次 第

と き 令和6年11月5日（火） 15:00～17:00
ところ 大垣市役所4階・情報会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 大垣西インターチェンジ周辺土地利用構想（素案）に対する意見への
回答について……………資料No. 1
- (2) 「道の駅」整備構想案について……………資料No. 2

3 閉 会

大垣西 I C 周辺土地利用構想（素案）に対する意見への回答について

1 土地利用構想の修正について

No.	意見	回答
1	○リニア中央新幹線の開業によりスーパー・メガリージョンが形成され、大垣市の人流・物流が増加し、イノベーションが発生すると思われる。また、現在、有数なモノづくり都市で名を馳せる大垣市で、コトづくり（付加価値サービス）が増加するようなインパクトをもたらすと思われる。スーパー・メガリージョンについて記載すべき。	○土地利用構想（素案）の 9 ページ、「(1)太平洋ベルトの中間地点」において、今後、リニア中央新幹線の開通によるスーパー・メガリージョンの形成が期待されるなかで、大都市間の中間地点に位置する本地区については、地域産品の市場拡大やビジネスチャンスの創出などが見込まれる主旨の記載を盛り込みます。
2	○付近に荒尾駅があるため、魅力的な施設が建設されれば、鉄道利用者の増大も期待できると考える。	○土地利用構想（素案）16 ページの、3 つの特性のうちの 1 つ、「交通アクセス」の中に、鉄道に関する記載を追記します。
3	○スマート農業技術活用促進法に基づき、スマート農業技術を活用し、農地の集約化・農地の適切かつ効率的な利用について、検討することを記載してはどうか。	○現在、土地利用構想の 26 ページ、『農業』に関する土地利用の可能性において、スマート農業の可能性についても言及しておりますが、左記の意見の趣旨を踏まえて、スマート農業技術を活用し、農地の集約化・農地の適切かつ効率的な利用の推進を検討する主旨の記載を盛り込みます。
4	○ドラマ「SHOGUN 将軍」をはじめとし、我が国の歴史・文化に興味を持つ外国の方が増加し、インバウンド需要が激増するといわれている。大垣市の歴史・文化は世界に誇れるものであり、市のインバウンド需要の増加が期待できる 3 歴史・文化のチャプターでは、写真を加えて掲載してはどうか。	○土地利用構想の 5 ページの「3 歴史・文化」に本市の歴史・文化に関する写真を掲載します。

No.	質問	回答
5	○「水の都」のフレーズだけでは、魅力が伝わらないため、自噴水の魅力が体感できる場として印象付けることが緊要である。「うつくしい水」「おいしい水」にこそ魅力がある。 「うつくしい水」が体感できる大規模ビオトープ(ハリヨ・ホタル・マコモダケ・カミツレ 等) 「おいしい水」の魅力…持ち帰る可能な天然水、おいしい水を利用した水まんじゅうなどの菓子作り体験 「ゆたかな水」の魅力…自噴井戸・防災井戸としての活用	○土地利用構想の16ページの、3つの特性のうちの1つ、「風土」の中の、「豊富な地下水」について、「豊富で良質な地下水」という表現に修正します。 ○また、今後、より検討が具体的になってきた段階で、地下水によるアプローチについて検討します。

2 今後の土地利用に関することについて

No.	意見	回答
1	○歴史・文化施設巡りができるサイクリングロードの整備を期待する。(化石館、中山道赤坂宿、美濃国分寺、奥の細道、大垣城など)	○西美濃地域の歴史的建造物や自然スポットをめぐる「西美濃夢源回廊」においてはサイクリング周遊もできることから、それを活用したスタンプラリーといった既存の企画等とも連携を図りながら、観光施策の検討を進めます。
2	○広域防災拠点としての施設機能だけではなく、防災意識を高めるための防災・減災が体験的に学べる防災センターの設置を期待する。	○大垣西IC周辺においては「災害耐性」が高いという立地特性が挙げられ、「防災」に重きを置いた導入機能の設置については前向きに検討していく予定です。
3	○地域の魅力が体感できる「ものづくり体験」施設の建設を期待する。(杵作り、大理石加工、染色(Tシャツ、バンダナ)、革細工、和菓子作り など)。	○地域の魅力を体感できる場、情報発信する場として有効に機能するよう、今後具体的な道の駅等の施設計画の中で、導入可能性を検討します。

No.	意見	回答
4	○近辺に 2000 名規模の集客が期待できる文化施設がないため、県内外から人が集まれる文化発信施設の建設を期待する。	○大規模ホール等については、本市の他の施設計画と整合を図りながら、立地可能性を調査研究します。
5	○子育て福祉機能を充実させることも考えてほしい。	○多世代が交流できる場、地域で子育てを見守る場は重要であると捉えているため、今後具体的な道の駅等の施設計画の中で、導入可能性を検討します。
6	○東海地方 No.1 の道の駅となるようにシンボルとして大きなタワーを建設する。	○独自性の観点から、シンボルになるような構造物は効果的と考えられるため、今後、調査研究します。
7	○21 号線の南側には防災・環境・子育てゾーン、北側には商業・観光ゾーンとしたらよい。	○周辺の土地利用現況や交通アクセスなどを考慮し、施設の配置について検討を進めます。
8	○子育てのために、動物園・水族館を建設する。	○今後、近隣類似施設の状況等も含め調査研究します。
9	○平常時は、滞在型観光を促進し、災害時は、電力供給などに役立つ RV パークを検討してはどうか。	○RV パークは、「道の駅」と相性が良く、導入可能性について検討を進めます。
10	○多くの人が「行くのが楽しみ」「また行きたい」「一日中飽きなかった」などの評価や期待をもってもらえる施設になるよう熟考していただきたい。	○今後具体的な道の駅等の施設の検討を行う際に、商圈調査をはじめ、周辺に立地する道の駅の導入機能の状況等の整理を行います。
11	○ハリヨの生息地の保全に関する研究や湧水がある箇所が保全が必要であると思う。	○ハリヨの生息地の保全については十分に考慮します。 ○また、地域特有の魚であるハリヨの展示や生態を学べる施設についても検討を進めます。

No.	意見	回答
12	○「道の駅」などの施設をいち早く整備してほしい。	○施設の段階的な整備も視野に入れて検討を進める予定です。
13	○当該地で土地利用が進行するためには、何かしら施設ができることが大事だと思う。 ○全てを一度に作るというのではなく、できるものから少しずつ整備を進めていくことを検討してほしい。	

第1回会議で出された 質問・意見に対する回答について

【質 問】

○西 I C 周辺エリアの農業産出額はどれぐらいか。

新しい土地利用をすることで、当該地での現在の農業生産額を上回るのであれば、農業としてもプラスになるのでは。

【回 答】

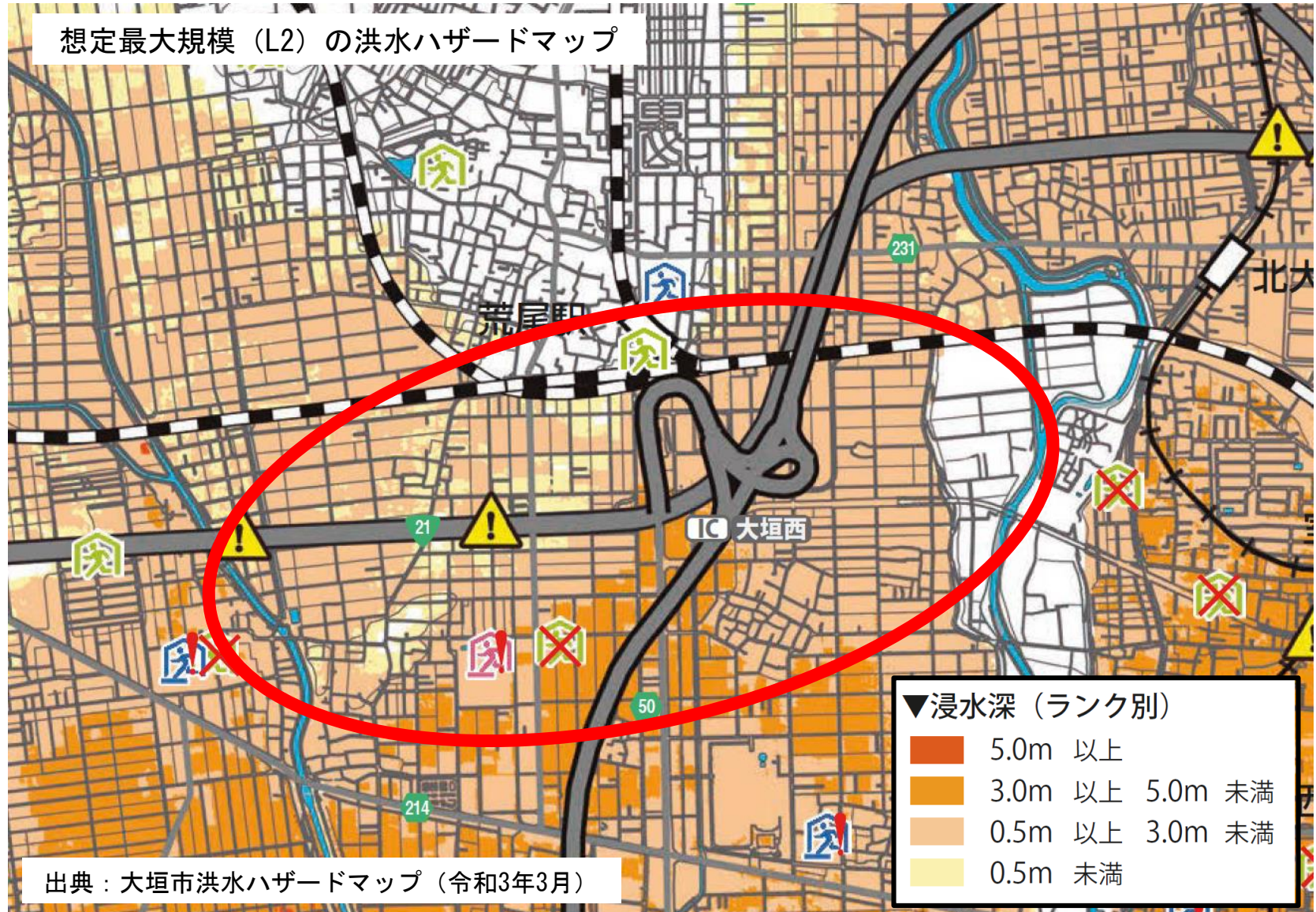
○調査検討地内の正確な農業産出額を公表していないため、大垣市全体の米の産出額を当該地の農地面積（約74ha）で按分し、当該地の米の産出額を推計しました。（4,425万円）

○当該地は、担い手の集積があることから、当該推計値をひとつの参考値としつつ、農業振興に資する、より付加価値の高い土地利用を検討していきたいと考えています。

【質 問】

○西 I C 周辺における洪水ハザードマップの L 2 の状況はどうなっているか。

調査検討地内におけるL2の状況



市内全域におけるL2の状況

想定最大規模(L2)の洪水ハザードマップ

浸水深の目安

ご自宅の
浸水の深さを
確認しましょう



このハザードマップについて

- 河川ごとの浸水想定を重ねて合わせて、一番大きい値を示しています。
- 1,000年に1回程度発生する大雨(想定最大規模)を前提に作成しています。
- ★ このマップに掲載されていない地域は、浸水想定区域外となっていますが、浸水想定区域外でも、降雨状況によっては浸水する可能性があります。
- ★ このマップは、想定できる最大規模(L2)の降雨に基づいて作成したもので、裏面に掲載しているマップは、緊急避難場所の指定や、河川整備において基本となる計画規模(L1)の降雨に基づいて作成したものです。

想定条件の例

河川名	頻率	前提となる降雨量
揖斐川	1,000年に1回	揖斐川流域2日間総雨量が667mm

※浸水や、浸水となる降雨量は、各河川によって異なります。

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)とは
近くの堤防が決壊するなどした場合、建物が倒壊したりする危険性の高い地域のことです。

凡 例

▼浸水深(ラング制)

- 5.0m 以上
- 3.0m 以上 5.0m 未満
- 0.5m 以上 3.0m 未満
- 0.5m 未満

▼避難施設

- 指定拠点避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所 兼 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所

避難施設の利用のご注意

- ① 2階以上浸水する場合は利用が困難な場合
- ② 利用できない可能性がある施設
- ※地震時は利用可能

○ 大垣市

- 行政界
- 市役所
- 国道
- 県道
- インターキップ
- サービスエリア

○ JR

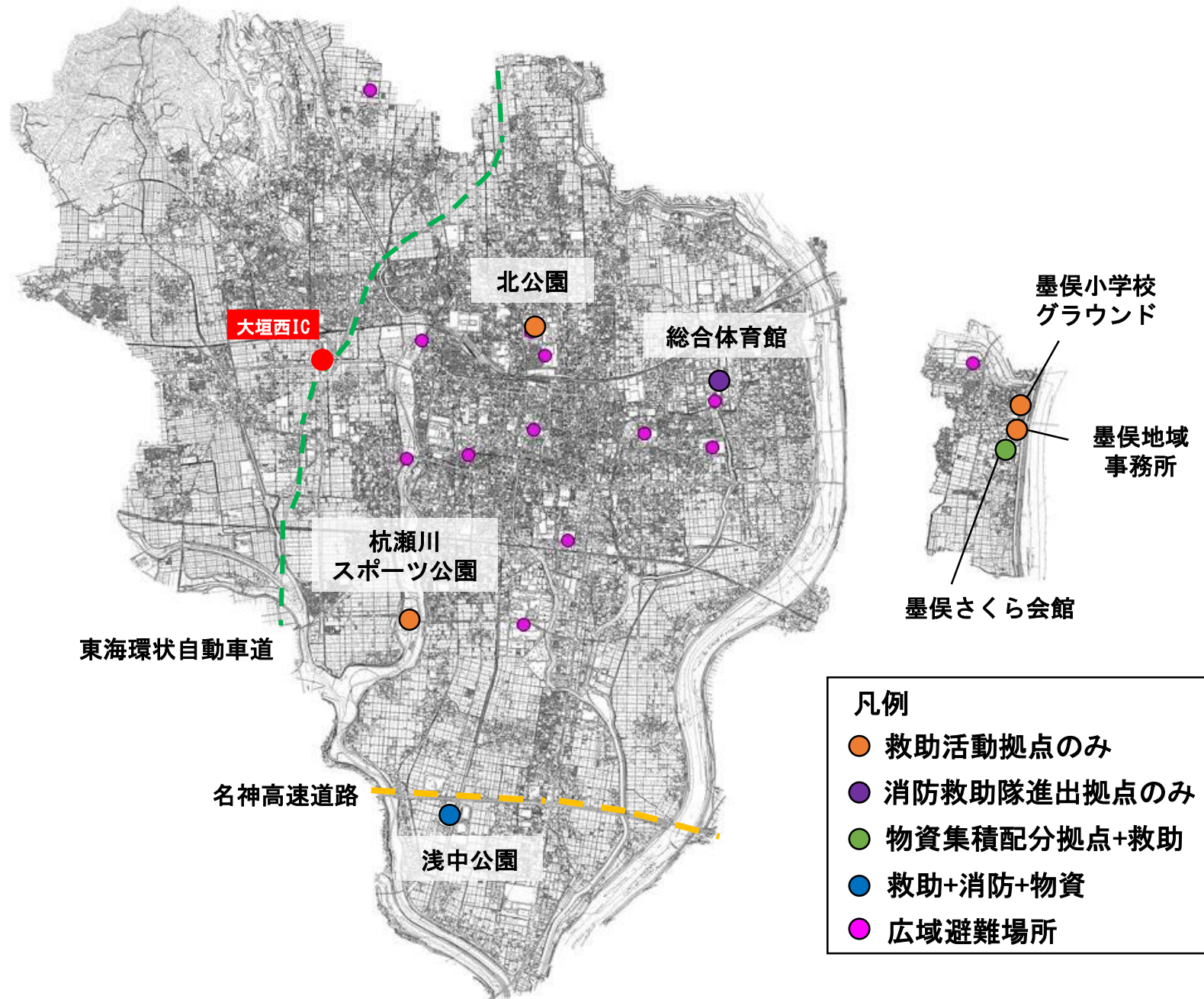
- 他鉄道
- 鉄道線
- 高速道路
- 新幹線(仮)
- スタートアップ
- ジャンクション

■ 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

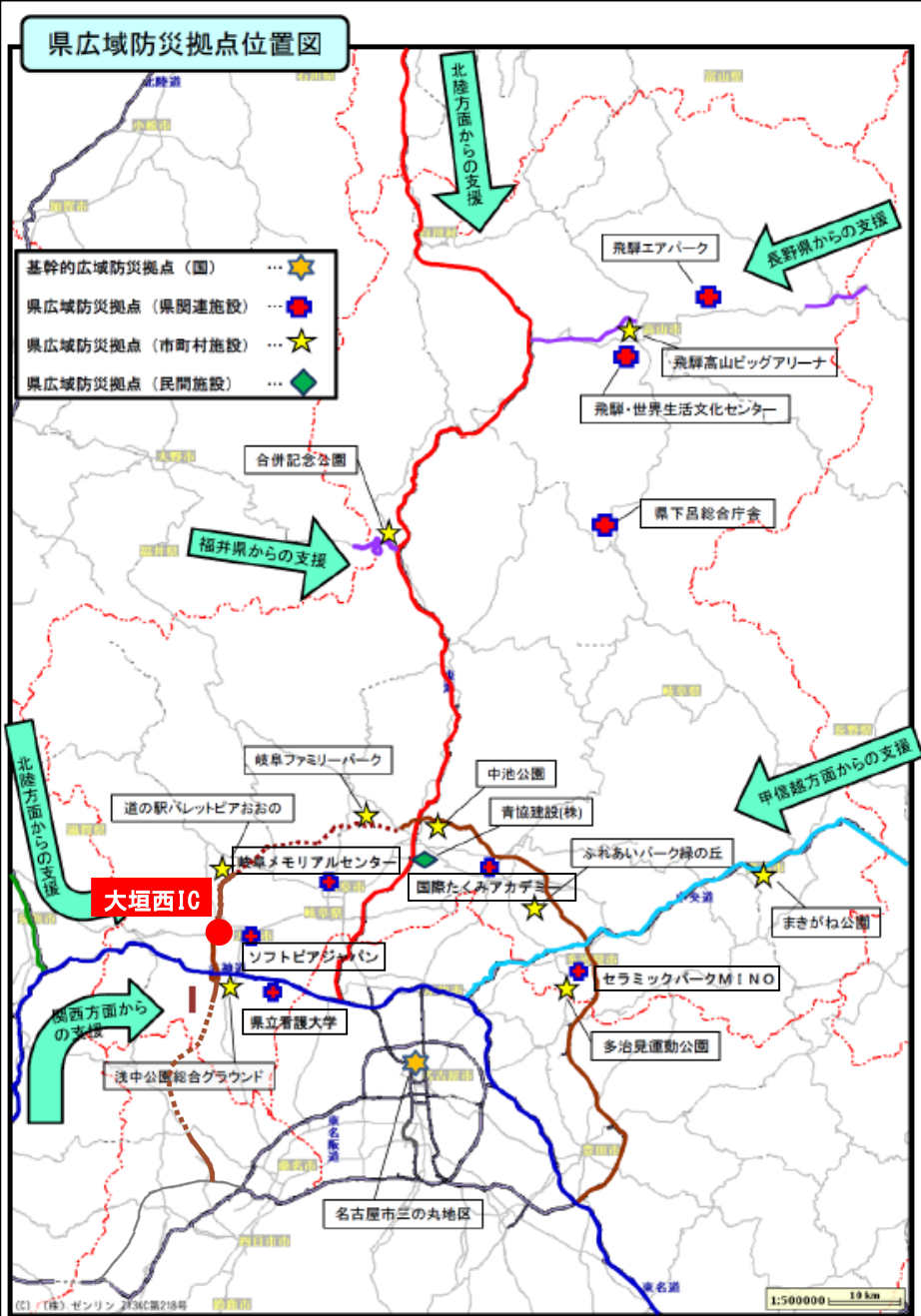
【質 問】

○県の広域の災害、国交省の中部エリアの災害、特に南海トラフ地震等を見据えた支援拠点がどのようなになっているか。

市が策定する大垣市地域防災計画に位置付けられた広域防災拠点



県が策定する岐阜県災害時広域受援計画に位置付けられた防災拠点



✓ 県広域防災拠点：18拠点

国が策定する南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画に位置付けられた防災拠点



意見報告書に対する回答について

1 土地利用構想の修正について

【質 問】

○リニア中央新幹線の開業によりスーパー・メガリージョンが形成され、大垣市の人流・物流が増加し、イノベーションが発生すると思われる。また、現在、有数なモノづくり都市で名を馳せる大垣市が、コトづくり（付加価値サービス）が増加するようなインパクトをもたらすと思われる。スーパー・メガリージョンについて記載すべき。

【回 答】

○土地利用構想（素案）の9ページ、「(1)太平洋ベルトの中間地点」において、今後、リニア中央新幹線の開通によるスーパー・メガリージョンの形成が期待されるなかで、大都市間の中間地点に位置する本地区については、地域製品の市場拡大やビジネスチャンスの創出などが見込まれる旨の記載に修正します。

1 土地利用構想の修正について

【質 問】

○付近に荒尾駅があるため、魅力的な施設が建設されれば、鉄道利用者の増大も期待できると考える。

【回 答】

○土地利用構想（素案）16ページの、3つの特性のうちの1つ、「交通アクセス」の中に、鉄道に関する記載を追記します。

1 土地利用構想の修正について

【質 問】

○スマート農業技術活用促進法に基づき、スマート農業技術を活用し、農地の集約化・農地の適切かつ効率的な利用について、検討することを記載してはいかがでしょうか。

【回 答】

○現在、土地利用構想の26ページ、「『農業』に関する土地利用の可能性」において、スマート農業の可能性についても言及しておりますが、意見の趣旨を踏まえて、スマート農業技術を活用し、農地の集約化・農地の適切かつ効率的な利用の推進を検討する旨の記載に修正します。

1 土地利用構想の修正について

【質 問】

○ドラマ「SHOGUN 将軍」をはじめとし、我が国の歴史・文化に興味を持つ外国の方が増加し、インバウンド需要が激増するといわれている。大垣市の歴史・文化は世界に誇れるものであり、市のインバウンド需要の増加が期待できる『3 歴史・文化』のチャプターでは、写真を加えて掲載してはいいかがか。

【回 答】

○土地利用構想の5ページの「3歴史・文化」に本市の歴史・文化に関する写真を掲載するものとします。

1 土地利用構想の修正について

【質 問】

- 「水の都」のフレーズだけでは、魅力が伝わらないため、自噴水の魅力が体感できる場として印象付けることが緊要である。「うつくしい水」「おいしい水」にこそ魅力がある。
「うつくしい水」が体感できる大規模ビオトープ（ハリヨ・ホタル・マコモダケ・カミツレ 等）
「おいしい水」の魅力…持ち帰る可能な天然水、おいしい水を利用した水まんじゅうなどの菓子作り体験
「ゆたかな水」の魅力…自噴井戸・防災井戸としての活用

【回 答】

- 土地利用構想の16ページの、3つの特性のうち1つ、「風土」の中の、「豊富な地下水」について、「豊富で綺麗な地下水」という表現に変更します。
- また、今後、より検討が具体的になってきた段階で、地下水によるアプローチについて検討します。

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

○歴史・文化施設巡りができるサイクリングロードの整備を期待する。（化石館、中山道赤坂宿、美濃国分寺、奥の細道、大垣城 など）

【回 答】

○西美濃地域の歴史的建造物や自然スポットをめぐる「西美濃夢源回廊」においてはサイクリング周遊もできることから、それを活用したスタンプラリーといった既存の企画等とも連携を図りながら、観光施策の検討を進めます。

“西美濃無源回廊” デジタルスタンプラリー

誰でも
スマホで
参加

西美濃夢源回廊
デジタルスタンプラリー

2021.10.1(金) → 2022.1.31(月)

参加料
無料

アプリ
インストール
不要

スタンプGET
プレゼントが
当たる

対象スポットに行って
QRコードを読み取り
スタンプをGETしよう!

詳しくは
こちらから

お問い合わせ JAF総合案内サービスセンター
0570-00-2811
(9:00~17:30 ※年末年始は休業)

ドライ
スタンプラリー

プレゼント - 各市町の特産品詰め合わせセット -

コンプリート賞 (全12スポット) 4名様 6,000円相当	コース賞 (Aコース or Bコース) 各コース4名様 3,000円相当	スタンプ賞 (4スポット以上) 10名様 1,000円相当
---	---	--

※応募者多数の場合は抽選となります ※商品内容については変更になる場合がございます

主催 西美濃夢源回廊協議会事務局 (大野町役場まちづくり推進課内0585-34-1111)

この事業は岐阜県「濃濃の国ぎふ」観光振興づくり補助金をうけています



西美濃
夢源
MUGEN
回廊

楽しさいっぱい!
西美濃夢源回廊の旅

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

○広域防災拠点としての施設機能だけではなく、防災意識を高めるための防災・減災が体験的に学べる防災センターの設置を期待する。

【回 答】

○大垣西 I C 周辺においては「災害耐性」が高いという立地特性が挙げられ、「防災」に重きを置いた導入機能の設置については前向きに検討していく予定です。

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

○地域の魅力が体感できる「ものづくり体験」施設の建設を期待する。（杓作り、大理石加工、染色（Tシャツ、バンダナ）、革細工、和菓子作り など）。

【回 答】

○地域の魅力を体感できる場、情報発信する場として有効に機能するよう、今後具体的な道の駅等の施設の検討の中で、導入可能性を検討することとしています。

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

○近辺に2000名規模の集客が期待できる文化施設がないため、県内外から人が集まれる文化発信施設の建設を期待する。

【回 答】

○大規模ホール等については、本市の他の施設計画と整合を図りながら、立地可能性を調査研究します。

【質 問】

○子育て福祉機能を充実させることも考えてほしい。

【回 答】

○多世代が交流できる場、地域で子育てを見守る場は重要であると捉えているため、今後具体的な道の駅等の施設の検討の中で、導入可能性を検討することとしています。

2 今後の土地利用に関するについて

【質 問】

○東海地方No.1の道の駅となるようにシンボルとして大きなタワーを建設する。

【回 答】

○独自性の観点から、真新しくシンボルになるような構造物は重要であると捉えているため、今後、調査研究することとしています。

2 今後の土地利用に関するについて

【質 問】

○21号線の南側には防災・環境・子育てゾーン、北側には商業・観光ゾーンとしたらよい。

【回 答】

○周辺の土地利用現況や交通アクセス性などを考慮し、今後、施設の配置について検討を進める予定としております。

【質 問】

○子育てのために、動物園・水族館を建設する。

【回 答】

○今後、近隣類似施設の状況等も含め調査研究します。

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

○平常時は、滞在型観光を促進し、災害時は、電力供給などに役立つRVパークを検討してはどうか。

【回 答】

○RVパークは、「道の駅」と相性が良く、導入可能性について検討を進めます。

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

○多くの人が「行くのが楽しみ」「また行きたい」「一日中飽きなかった」などの評価や期待をもってもらえる施設になるよう熟考していただきたい。

【回 答】

○今後具体的な道の駅等の施設の検討を行う際に、商圈調査をはじめ、周辺に立地する道の駅の導入機能の状況等の整理を行うこととしています。

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

○ハリヨの生息地の保全に関する研究や湧水がある箇所
の保全が必要であると思う。

【回 答】

○ハリヨの生息地の保全については十分に考慮することとして
います。

○また、地域特有の魚であるハリヨの展示や生態を学べる施設
についても検討を進めます。

2 今後の土地利用に関することについて

【質 問】

- 「道の駅」などの施設をいち早く整備してほしい。
- 当該地で土地利用が進行するには、何かしら施設ができることが大事だと思う。
- 全てを一度に作るというのではなく、できるものから少しずつ整備を進めていくことを検討してほしい。

【回 答】

- 施設の段階的な整備も視野に入れて検討を進める予定です。